

## 消防費

消防費は消防、防災に関する業務に使われています。  
 「小型動力ポンプ等消防機器購入事業（総額7,580）」  
 （国見2,877、武蔵4,316、安岐387）  
 「防火水槽等消防施設整備事業（総額2,798）」  
 （国東963、安岐1,835）  
 「消防格納庫新築事業」（安岐24,519）  
 「広域消防運営費負担金（総額741,281）」  
 （国見118,426、国東303,635、武蔵124,603、安岐194,617）

## 教育費

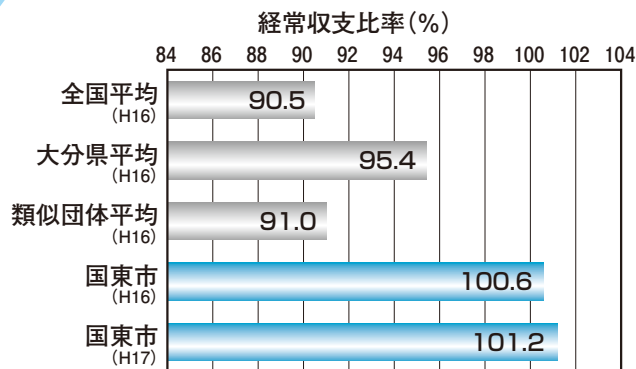
教育費は小、中学校の管理や社会教育、社会体育などの振興に関する業務に使われています。  
 「中学生海外研修事業（総額7,072）」  
 （武蔵3,039、安岐4,033）  
 「図書館管理運営事業（総額55,625）」  
 （国見5,539、国東30,568、武蔵15,690、安岐3,828）  
 「中学校改築事業（総額1,640,094）」  
 （国見631,899、安岐1,008,195）  
 「竹田津小学校プール改修事業」（国見6,458）  
 「総合文化センター等管理費」（国東86,824）

「史跡安国寺体験学習館管理費」（国東61,964）  
 「東小学校耐震補強等事業」（武蔵20,160）  
 「むさし健康マラソン大会補助金」（武蔵2,470）  
 「山口地区公民館施設整備事業補助金」（安岐8,516）  
 「三浦梅園旧宅保存修理事業補助金」（安岐24,396）  
 「九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会補助金」（安岐7,500）

## 災害復旧費

災害復旧費は台風などの災害により被害を受けた道路や農地の復旧に関する経費に使われています。平成17年9月の台風14号被害による「農地・農業用施設災害復旧費（総額117,947）」  
 （国見102,127、国東4,668、武蔵4,506、安岐6,646）  
 「道路橋梁災害復旧費（総額148,583）」  
 （国見128,117、国東18,901、安岐1,565）  
 「漁港施設災害復旧費（総額26,332）」  
 （国東24,026、安岐2,306）  
 「河川災害復旧費」（国見38,267）  
 「海岸災害復旧費」（国見22,862）  
 「安国寺集落遺跡災害復旧費」（国東24,143）

### 財政構造の弾力性



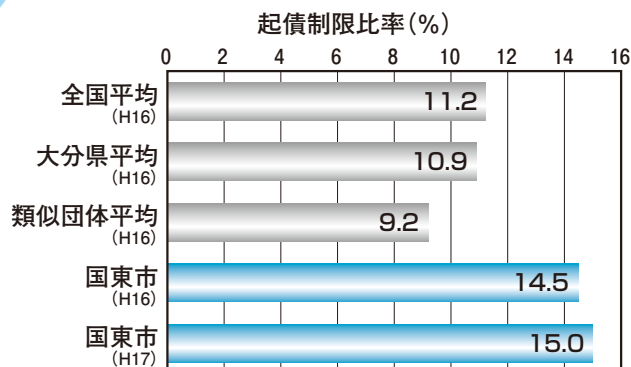
#### 【説明】

経常収支比率とは、市税や地方交付税などの毎年経常的に収入される一般財源を、人件費、扶助費、公債費など毎年経常的に支出する経費にどれくらい使っているかをみる指標で、財政の健全性を判断します。この比率が100に近づくほど、公共施設の整備など投資的な事業に使える財源の余裕が少なくなり、財政運営が厳しくなります。

国東市の経常収支比率は、100%を超え、県内の市の中でワースト2位となっており、危機的な財政状況といえます。

行財政改革に取り組み、経常経費の削減を早急に図る必要があります。

### 公債費負担の健全度



#### 【説明】

起債制限比率とは、公債費（借金の返済額）による財政負担の度合いを判断する指標です。

この比率が20%を越えると一般単独事業債などの発行が認められなくなり、30%を越えると一般事業債の発行が認められなくなります。

国東市（H17）の比率は、15%と非常に高く、県内の市の中でワースト1位となっています。

今後、実施予定の事業を取捨選択し、市債（借金）の発行を押さえる必要があります。